

新旧対照表

【主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律に係る米麦等の輸入通関の際における取扱いについて（平成 11 年 3 月 31 日蔵関第 256 号）】

(注) 傍線を付した箇所が改正部分である。

改正後	改正前
<p>1 確認の対象となる米麦等</p> <p>(1) (省略)</p> <p>(2) 法第 42 条、第 43 条及び第 45 条に基づき行われる輸入の対象となる麦等であって税関に確認を依頼する麦等は、次に掲げる物品である。</p> <p>関税定率法別表の第 1001.11 号、第 1001.19 号、第 1001.91 号、第 1001.99 号、第 1003.10 号、第 1003.90 号、第 1008.60 号、第 1101.00 号、第 1102.90 号の一及び二、第 1103.11 号、第 1103.19 号の一及び二、第 1103.20 号の一、四及び五、第 1104.19 号の一及び三、第 1104.29 号の一及び三、第 1108.11 号、第 1901.20 号の一の (二) の B、C 及び D の (a)、第 1901.90 号の一の (二) の B、C 及び D の (a)、第 1904.10 号の二の (二) 及び (三)、第 1904.20 号の二の (二) 及び (三)、第 1904.30 号、第 1904.90 号の二及び三並びに第 2106.90 号の二の (一) の B に掲げる物品</p> <p>2 税関の確認の時期及び方法</p> <p>(1) 法第 30 条第 2 項の規定に基づき、政府の委託を受けた者が輸入する米穀等の場合については、次によるものとする。</p> <p>① (省略)</p> <p>② 確認方法</p> <p>農林水産省生産局（以下「生産局」という。）は、米穀等の輸入を目的とする買入れを委託した者に、<u>支出負担行為担当官農林水産省生産局長（以下「支出負担行為担当官生産局長」という。）</u>を甲とし受託者を乙とした「輸入米穀（等）買入委託契約書」の写しを輸入申告の際に提出させるので、当該契約書の写しの記載内容（数量）と輸入申告書等の記載内容との対査確認及び<u>生産局支出負担行為担当官生産局長印</u>の押印（印影写し）（別紙 1）を確認する。</p>	<p>1 確認の対象となる米麦等</p> <p>(1) (同左)</p> <p>(2) 法第 42 条、第 43 条及び第 45 条に基づき行われる輸入の対象となる麦等であって税関に確認を依頼する麦等は、次に掲げる物品である。</p> <p>関税定率法別表の第 1001.10 号、第 1001.90 号、第 1003.00 号、第 1008.90 号の二の (一)、第 1101.00 号、第 1102.90 号の一及び二、第 1103.11 号、第 1103.19 号の一及び二、第 1103.20 号の一、四及び五、第 1104.19 号の一及び三、第 1104.29 号の一及び三、第 1108.11 号、第 1901.20 号の一の (二) の B、C 及び D の (a)、第 1901.90 号の一の (二) の B、C 及び D の (a)、第 1904.10 号の二の (二) 及び (三)、第 1904.20 号の二の (二) 及び (三)、第 1904.30 号、第 1904.90 号の二及び三並びに第 2106.90 号の二の (一) の B に掲げる物品</p> <p>2 税関の確認の時期及び方法</p> <p>(1) 法第 30 条第 2 項の規定に基づき、政府の委託を受けた者が輸入する米穀等の場合については、次によるものとする。</p> <p>① (同左)</p> <p>② 確認方法</p> <p>農林水産省総合食料局（以下「総合食料局」という。）は、米穀等の輸入を目的とする買入れを委託した者に、<u>支出負担行為担当官農林水産省総合食料局長（以下「支出負担行為担当官総合食料局長」という。）</u>を甲とし受託者を乙とした「輸入米穀（等）買入委託契約書」の写しを輸入申告の際に提出させるので、当該契約書の写しの記載内容（数量）と輸入申告書等の記載内容との対査確認及び<u>総合食料局支出負担行為担当官印</u>の押印（印影写し）（別紙 1）を確認する。</p>

新旧対照表

【主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律に係る米麦等の輸入通関の際における取扱いについて（平成 11 年 3 月 31 日蔵関第 256 号）】

(注) 傍線を付した箇所が改正部分である。

改正後	改正前
<p>なお、数量の確認において、<u>支出負担行為担当官生産局長</u>との間の契約数量と、税関に提出される輸入申告書に記載された数量との間で+5%のアローワンスを認めて差し支えない。</p> <p>③ (省略)</p> <p>(2) 法第 31 条第 1 項の規定に基づき、政府と売買契約を締結した者が輸入する米穀等の場合については、次によるものとする。</p> <p>① (省略)</p> <p>② 確認方法</p> <p><u>生産局は、米穀等の輸入者に、支出負担行為担当官生産局長を甲とし輸入業者を乙とした「輸入米穀（等）の特別売買契約書」の写しを輸入申告の際に提出させるので、当該契約書の写しの記載内容（数量）と輸入申告書等の記載内容との対査確認及び生産局支出負担行為担当官生産局長印の押印（印影写し）を確認する。</u></p> <p>なお、数量の確認において、<u>支出負担行為担当官生産局長</u>との間の契約数量と、税関に提出される輸入申告書に記載された数量との間で+5%のアローワンスを認めて差し支えない。</p> <p>③ (省略)</p> <p>(3)～(6) (省略)</p> <p>3 通関の際に疑義が生じた場合の取扱い</p> <p>前記 1 及び 2 に関して疑義が生じた場合は、<u>生産局</u>又は当該疑義が生じた米麦等に係る通関を行う税関の所在地を管轄する地方農政局等と協議の上処理することとする。</p> <p>別紙 1 <u>生産局支出負担行為担当官生産局長印</u></p> <p>別紙 2～8 (省略)</p>	<p>なお、数量の確認において、<u>支出負担行為担当官総合食料局長</u>との間の契約数量と、税関に提出される輸入申告書に記載された数量との間で+5%のアローワンスを認めて差し支えない。</p> <p>③ (同左)</p> <p>(2) 法第 31 条第 1 項の規定に基づき、政府と売買契約を締結した者が輸入する米穀等の場合については、次によるものとする。</p> <p>① (同左)</p> <p>② 確認方法</p> <p><u>総合食料局は、米穀等の輸入者に、支出負担行為担当官総合食料局長を甲とし輸入業者を乙とした「輸入米穀（等）の特別売買契約書」の写しを輸入申告の際に提出させるので、当該契約書の写しの記載内容（数量）と輸入申告書等の記載内容との対査確認及び総合食料局支出負担行為担当官印の押印（印影写し）を確認する。</u></p> <p>なお、数量の確認において、<u>支出負担行為担当官総合食料局長</u>との間の契約数量と、税関に提出される輸入申告書に記載された数量との間で+5%のアローワンスを認めて差し支えない。</p> <p>③ (省略)</p> <p>(3)～(6) (同左)</p> <p>3 通関の際に疑義が生じた場合の取扱い</p> <p>前記 1 及び 2 に関して疑義が生じた場合は、<u>総合食料局</u>又は当該疑義が生じた米麦等に係る通関を行う税関の所在地を管轄する地方農政局等と協議の上処理することとする。</p> <p>別紙 1 <u>総合食料局支出負担行為担当官印</u></p> <p>別紙 2～8 (同左)</p>